

日 時：平成21年2月1日(日)16:30～19:00

場 所：ハイアットリージェンシー大阪

参加者：横山G、大谷GE、笠原委員長、村橋副委員長、
北川副委員長、青木、稲邑、武島、米田、磯田各委員
大学指導教官、各クラブ会長、米山委員長、カウンセラー
計74名

地区米山奨学委員会

委員 磯田 郁子
(大阪東淀RC)

2008年度「米山奨学委員会 米山奨学生終了者歓送会」が上記のように開催されました。はじめに横山Gから挨拶があり、奨学期間を終える学生たちにお祝いの言葉とエールが送られました。その後、今年度で1年乃至は2年の奨学生を終了する留学生の皆さんに修了書の盾が、そしてカウンセラーのロータリアンには感謝状が横山Gより1人1人に手渡されました。次に笠原委員長から、「奨学金を受けた恩を日本で返してほしいなどという小さな気持ちはありません。お国に帰られてからお国の困っている人や助けが必要な人に返してもらえたらこの奨学金の意味があったと思います。そしてお国と日本のよき架け橋になってもらいたい。」と挨拶されました。

大谷GEのご挨拶と乾杯で始まった歓談・食事の後、奨学生の皆さんはそれぞれの米山奨学生としての思い出や感謝の気持ちなどを壇上で発表し、今までの奨学生としての期間の思い出を振り返っていました。その皆さんの表情は希望に満ちていました。「まだ私の国にはロータリークラブがないけれども、是非母国にロータリーを作って入会したいです。」「これからも日本と母国の

架け橋として活躍できる人間になりたいです。」「経済的な心配をすることなく学業に専念できて無事博士を終了することができたのはこの米山のおかげです。」「多くのロータリアンと出会えて勉強になりました。」などの感謝の気持ちを、初めて壇上で話した1年前或いは2年前とは比べものにならないほど上達した日本語で話してくれました。

また我が子のように見守ってきたカウンセラーのロータリアンからは「いい出会いができました。」「これからもずっと連絡を絶やすことなく付き合っていきたいです。」「彼の将来に大いに期待しています。」などの感想が聞かれました。

引き続き米山奨学生のOB会である学友会の会長・朴日(中国)さんから「これからは学友会に入って一緒に活動していきましょう。」という話があり、最後に村橋副委員長の閉会の挨拶で和やかなうちに開きとなりました。

米山奨学生としてはこれで終了ですが、今後もこのロータリーとの縁が末永く続くことを祈っています。最後に今年度米山奨学生を御世話いただきましたカウンセラーをはじめ、世話クラブの皆様にも深く感謝を申し上げます。

